

2020年度 第6回 理事会 抄録

日時： 2020年8月2日（日） 9:00～10:45
場所： WEB会議
出席： 理事： 半田、内山、斉藤、森本
網本、大淵、小川、梶村、清宮、黒澤、佐々木、白石、大工谷、高橋（哲）、
高橋（仁）、田中、谷口、友清、中川、藤澤、松井、山根、吉井
監事： 太田、長澤、辺土名
欠席者 理事： なし
監事： なし

I. 審議事項

（全5題）

1.新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた2020年度下半期における本会主催の学術集会、研修会、会議等の開催について (半田会長)	承認
<p>新型コロナウイルス感染拡大を踏まえた2020年度下半期における本会主催の学術集会、研修会、会議等の開催について、承認された。</p> <p>なお、承認後の日程は2022年7月9日（土）・10日（日）となる。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・リモートが多くなると思う。その場合に特別講演、会員の発表においてどのようなかたちを取ろうと考えているのか。HPに抄録を掲載し、発表することを実績とするのか、特別講演のみとするのか。 →学会の企画内容は本会の業務執行では定めていない。方向づけはするが分科学会に任せる予定。 →発表の機会を得たいという思いがあると思うので、分科学会の先生方に配慮を求めたい。・対面研修会での実技指導はできないと考えたほうがよいのか。 →現時点では厳しいと考える。・オンライン開催にあたっての支援、生涯学習ポイントの付与について、主催者側が柔軟に対応できるようにするか。 →協会の支援としては、理学療法士講習会については、オンライン開催の場合2万円をお渡しすることを考えている。柔軟な対応の内容についてはガイドラインに即した範囲で主催者側にてご検討いただきたい。 →一部の会員には専門的知識がなく、ボランティアで負担をかけていることは把握しているので、新たな負担について方策・支援を検討している。・臨床実習指導者講習会は3協会で開催するものなので、この方針には該当しないということだが、士会の担当者レベルで実施するにあたり、相談が多く寄せられることが想定される。注意書きで本講習会は該当しないと入れてほしい。	

2. 新組織検討委員会の設置について	(半田会長)	承認
<p>新たな組織体制の検討にあたり、協会と各都道府県士会とが緊密に連携していくことを目的として、新組織検討委員会を設置することについて提案され、承認された。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイムスケジュールと審議する内容を教えてほしい。 → 定款を変える内容の議論には及ばない。士会・協会で分担する業務などについて議論していただく。 ・この委員会で何をするのか。組織改編に向けた過程を切り分けて行うのか。 → 来年の総会では一括法案のような形で提示し、具体的な組織改編は2022年度からとする予定。 → 全体像を先に示さないと士会は理解できないのではないかと。 → 指摘の件は、このあとの理事懇談会で協議する。 ・宛職にすると選挙のある士会は会長が変更になるところもあるので、会長変更となってもその方が委員を継続できるようにしてほしい。 → 中医協のように宛職として、会長変更の場合は委員も変更となる。 ・委員会設置後、活動はすみやかに始まると思うが、予算はどのように考えているのか。 → おそらくオンライン会議となるため、少額で収まる見込み。頻度は秋の臨時総会、あるいは来春の総会などに中間報告を上げることとして、それを前提として決定する。 ・この委員会の委員長はどうするのか。 → 協会の副会長のなかから任命したいと考えている。 		
3. 懲戒委員会委員の推薦について	(半田会長)	承認
<p>懲戒規程第3条第1項第2号の定めるところにより、懲戒委員会委員として理事会が推薦する会員2名について前回の意見を踏まえて検討し、改めて2名の任命をすることが提案され、承認された。</p> <p>なお、任期を2020年度の一年とし、懲戒規程については、前回の理事会で発言したとおり、諮問委員会から独立機関への変更を考えており、別途提案予定である。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諮問機関から独立機関への変更を考えているという話だが、理事会で十分に議論することはもちろんだが、専門家を入れた第三者に議論をしてもらおうほうがよいのではないかと。 → ご意見もふまえて検討する。 ・委員に警察OBなどの専門家を入れたほうがよいのではないかと。 → 会長が除名を除く処分を決定する現状で、各案件について会長宛に意見の申し立てが発生するようになってきている。いずれにしても第三者機関を設けるべきだろう。 		
4. 令和2年7月3日からの大雨による災害に対する年会費免除等について	(半田会長)	承認
<p>令和2年7月3日からの大雨による災害について、本会が定める大規模災害として承認された。</p>		
5. 新入会員の承認について	(半田会長、内山副会長、斉藤副会長、森本副会長)	承認
<p>2020年6月16日～2020年7月15日の間、新たに申請をした正会員1,635名の入会について承認された。また、復会者55名、休会者130名、退会者1,996名だったことが併せて報告された。</p>		

II. 報告事項

(全 11 題)

1. 令和3年度介護報酬改定に関する要望について	(森本副会長)
<p>令和3年度介護報酬改定にあたり、全国リハビリテーション医療関連団体協議会（9団体）、リハビリテーション専門職団体協議会（3団体）での協議を踏まえて確定した、各団体から提出する要望内容について報告された。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・通所介護についての要望をもっと出してほしい。 →機能訓練指導員としてひとまとめにされており、区別することを要望しているがなかなか通らない。政府ではアウトカム評価をもとに検討する方針が進められているため、リハ職が関与することで効果があることを示せればと思う。・訪問看護ステーションのサテライトに、リハビリテーションに特化した仕組みを要望するなどには可能か。 →訪問看護ステーションの運用の弾力化ということで要望を進めていく。	
2. 生涯学習ポイント付与の対象となりうるオンライン活用による双方向性の学会発表・研修会の様式作成と公開について	(斉藤副会長)
<p>新たな生活形式における学会発表（症例報告含む）や研修会等について、生涯学習ポイント付与対象となる形態を作成したことが報告された。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・ライブ配信について、同時に行うという意味か。昨今、Zoomによるレコーディングを行い、それを見たいうえで質疑応答を行うパターンもある。 →そちらは含んでいないと理解してほしい。 →学会運営審議会では、含むという理解で周知しているので、同じやり方を継続してほしい。 →確認して必要があれば訂正版を提出する。	
3. 女性理学療法士の会 2019年度助成事業報告について	(半田会長)
<p>女性理学療法士の会からの2019年度助成事業実績報告について、報告された。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・コンテンツ作成の要望については、接遇、ハラスメントなどのコンテンツを作成することも可能ではないかと思われる。	
4. リカレント支援事業 報告（2020年度女性代議員の集い 開催報告）	(清宮理事、吉井常務理事、谷口理事)
<p>新型コロナ感染拡大等により Web 開催となった女性代議員の集いについて、報告された。</p>	

5. 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の競技スケジュールなどについて (梶村常務理事)

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の競技スケジュールが公開されたことを踏まえ、改めて、当初の事業目的を大きく変更することなく、かつ予算内でおさまる今年度事業について、国内外の社会状況などを勘案しながら検討する旨が報告された。

6. World Physiotherapy(旧 WCPT)2023 学会・総会に対する本会としての方向性について (半田会長)

東京開催が予定されている「World Physiotherapy (旧 WCPT) 2023 学会・総会」について、本会としては、招致活動時に World Physiotherapy 視察団と確認した「参加者募集のための取り組み」を中心に検討していく方向であることが報告された。

7. 常勤役員行動録について (半田会長、斉藤副会長、大工谷専務理事)

専従役員の6～7月分の行動録について報告された。

8. 事務局報告について (大工谷専務理事)

6～7月の事務局報告がなされた。

9. 新生涯学習制度における委員会の設置および委員の選出について (斉藤副会長)

新生涯学習制度における登録理学療法士、認定・専門理学療法士の制度遂行にかかわる委員会を生涯学習課分掌内に置くことの承認を受け、下記委員会の設置および委員を選出し、業務執行を開始したことが報告された。

1. 登録理学療法士制度委員会
2. 講義資料検証小委員会
3. 認定・専門理学療法士制度委員会
4. 認定・専門理学療法士審査委員会
5. 認定・専門理学療法士制度委員会ワーキンググループ

10. 理学療法啓発事業および新聞広告(協会設立 55 周年記念事業)について (吉井常務理事)

理学療法の日である7月17日に合わせ、以下の広報事業を実施したことが報告された。

- ・ 7月17日の読売新聞全国版朝刊に「理学療法士の活動領域」および「熱中症対策」をテーマに全面広告を掲出(協会設立55周年記念事業を兼ねる)
- ・ 第8回「笑顔をあきらめない」写真コンテスト結果発表
- ・ Twitter 上での4コママンガ連載開始
- ・ 都道府県理学療法士会のイベント案内
- ・ 理学療法士ガイドおよびリーフレットの改訂・配付

詳細：http://www.japanpt.or.jp/about/enterprise/2020_rigakuryouhounohi/

11. 常任理事会 会議報告（7月4日）

（大工谷専務理事）

7月4日に開催された第4回常任理事会の結果について報告された。議題は以下の通り。

協議事項：

1. 2020年度学会運営協議会について
2. 2021年度事業計画・予算にあたっての設定条件について
3. 組織体制強化のための組織体制整備について

報告事項：

1. 臨床実習の手引き第6版 作成進捗状況報告について
2. 資金繰りについて

以上